

# 「県陵精神」受け継ぐ

## 松本県ヶ丘高 伝統の新入生応援練習

松本平の高校では4月、新入生を対象にした校歌や応援の練習が行われる。松本市の松本県ヶ丘高校では14、17日、校歌や応援歌10曲ほどを振り付けとともに繰り返す応援練習を実施。新入生に「県陵精神」を伝え、つらい練習に耐えてこそ「真の県陵生」として認められる、という伝統行事に361人が臨んだ。(上條香代)



大声を出す1年生と叱咤する小林団長

緊張した面持ちで必死に声を出す1年生の間を、赤い鉢巻きに学ラン姿の応援委員2、3年生(14人)が「声を出せ!」「まだ全力出し切ってないだろう!」と大声で叱咤(しった)しながら歩き回る。その中でも高げたを履いて首に鎖を下げて、他の応援委員にも大声で指示する小林慧拓(けいた)団長(17)は、1年生にとってひととき怖い存在だ。

3年前の団長は、小林君の兄の昂暉(こうき)さん。その学ラン姿や活動の姿をビデオで見て「普段の姿と違いかっこいい」と憧れ、同校へ。



「全て水に流す」として小林団長に水を掛ける1年生

最終日の練習を終え「よく頑張った。お前もこれで晴れて県陵生だ」と1年生に宣言した小林君。退場して表情を緩ませると「満足感でいっぱい。これで伸ばしてきたひげはそりまします」。続いて昇降口前で行った、1年生が団長らに水を掛ける儀式では「かっこいい」とスマートフォンで写真に収める姿も。瀬戸桃子さんは「こんなにも恐ろしい人がいるんだと思ったけど、最後に『頑張れ』と言ってくれたり、一緒に歌ってくれたりして、本当は優しいと分かった」と感激していた。応援委員には、1年生の各組から男子2人ずつが選出され、全体練習に先立ち8日から練習した。

その1人、岩垂雅也君は「入学前のオリエンテーションで見えてかっこいいと思ったのと、父も兄も県ヶ丘出身で、父は応援委員長(当時の団長)だったと聞いていたこともあり立候補した。練習は大変だったけど、しっかり引き継いでいけるように続けて頑張りたい」と力強く話した。